

第27回年次大会(静岡大会)開催のごあいさつ

医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ 大嶋 正浩

多くの方が、コロナ禍でさまざまな体験をされ、人生についていろいろ思いをはせることがあるでしょう。家族や身近な人への思いが深まるといういい意味があったかもしれません。いいこともあると思いたいものです。

デイケア学会を引き受け、コロナに出会い我々に何ができるかと議論したところ、ややもすれば廃れがちな、人が集まり支えあう場を盛り上げる一助となればと考えました。決して診療報酬上からも、精神科領域からも少し傍流になりつつあります。それではさみしいと思います。

ある経済学者は、今会社のフロアーが縮小されている傾向もあるが、同時にGAFA(グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン)などは、中心部に会社フロアーを広げているといいます。そして、今後は会社フロアーはHUGする場所になっていくと語っています。今後の社会はよりつながる仕掛けが必要な社会になるということです。精神科こそ、よりつながりを作っていく最前線である必要があり、デイケアは時代の先端に行くのではないのでしょうか。

我々は、地域が人を育てる、人を癒す場所ではなくなりつつあることも知っています。そういった人が精神科に押しかけていますが、社会的退化に歯止めはかかっていません。デイケアが、人がつながる場所

であり地域も巻き込んでいける(当面は福祉関係や地域のNPO等)インターフェースであると思っています。

今回、うまくいくかどうかわかりませんが、2日のうちの土曜日を当事者参加型の学会にしてみることにしました。また、年次大会前にも企画をしたいと考えております。それぞれ、デイケアメニューとして盛り上がるようにしたいと思います。オンラインだからこそできることですが、遠くのデイケアと連帯でき、様々な刺激を感じることができるとうれしいところです。コロナが終われば、そこから生の交流につながるかもしれません。たぶん、ADHD傾向のあるスタッフもいると思います。そういう人を前面に出し、皆さん楽しく交流しませんか。私も、人見知りがありますが、この機会に様々な方と知り合えたらと思っています。

もし、コロナがおさまっていたら、集まっていたように会場もとってあります。手作りですので、きちりした会にはならないかもしれませんがご容赦願います。配信をはじめ学会運営も患者さん中心の会社が請け負うことになっています。よろしく願いいたします。ぜひ大勢の方で盛り上げていただけたらと存じます。

日本デイケア学会 第27回年次大会静岡大会のご案内

大会テーマ

人と地域を癒して育てる時代へ
～デイケアこそ医療と地域のインターフェイス・
コロナからのV字回復 笑顔と笑いでつながろう～

会 期

2022年 9月 3日(土)・4日(日)

会 場

WEB開催 (詳細は随時ホームページで公開します)

ホームページ

<https://daycare27.shizuoka.jp/>

大会長

大嶋 正浩 (医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ院長)

副大会長

村上 直人 (静岡県立こころの医療センター院長)

竹村 淳和 (浜松医科大学医学部附属病院精神神経科医学講座講師)

大場 義貴 (聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科准教授)

3月14日より一般演題&合同レク応募スタート!!

<開催に向けて>

今回、情勢をふまえオンライン開催を予定しております。コロナ禍を体験し、デイケアの形に不安を感じ、何より人との繋がりが途切れがちになり、スタッフの皆さんもメンバーさんも不安に感じている日々が続いていると思います。

全国の皆さんと繋がりを実感でき、明日からの活力になる様な機会にしていきたいと考え、実行委員会で企画しております。ホームページ上でも情報を公開していきます。ぜひ、参加の程よろしくお願い致します。

実行委員一同

<開催企画>

講演会・デイケア合同レクリエーション (発表・ゲーム)・シンポジウム・スタッフ実践発表 等々

大会運営事務局:医療法人社団至空会 メンタルクリニック・ダダ

〒434-0043 静岡県浜松市浜北区中条1844

TEL:080-2647-7856 FAX:053-586-9029

Mail:dcgakikai2022@shikukai.jp HP:<https://daycare27.shizuoka.jp/>

第26回年次大会 WEB 大会を終えて

第26回年次大会 WEB 大会 大会長 原 敬造

盛会のうちに WEB 大会を無事に終えることが出来ました。大会の開催にご尽力をいただいた会員の皆様のご協力に感謝いたします。

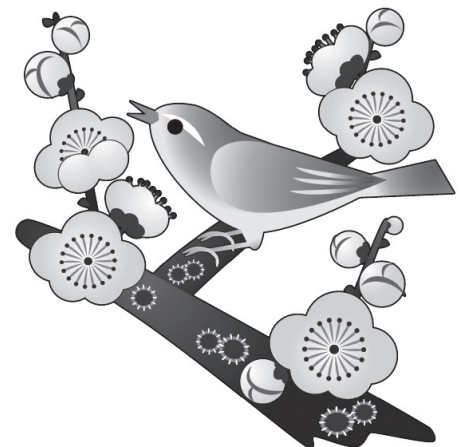
2020年からのコロナ禍により、2020年の長崎大会の延期を余儀なくされ、2021年においても、コロナ禍が終息する兆しも見えず、長崎での現地開催を残念ながらあきらめざるを得ませんでした。このような中で WEB での大会を開催することになり、事務局が主体になって準備を進めました。事務局会議を WEB で行っている中で、WEB では議論や細かい打ち合わせは難しいと感じており、大会を無事に終えることが出来るのか心配しておりました。

メインテーマは“コロナ禍からデイケアを考える”とし、集団活動を中心にしたデイケアでの取り組みに対するコロナ感染症対策の影響などについてシンポジウムで議論しました。

特別講演は、長崎大会大会長の西脇健三郎先生（医療法人志仁会 西脇病院）が「依存症」について*精神科疾病構造の変化とポストコロナを踏まえて*、牧 徳彦先生（医療法人鷺友会 牧病院）が“民間精神科病院における COVID-19 クラスターの経験”といった演題でご講演されました。コロナ感染症に対するデイケアでの対応や今後のデイケアを考えるうえでの貴重なヒントをいただきました。

一般演題では、今後のデイケアでの取り組みに生かせる様々な観点からの発表があましました。ICTを用いた、今回の試みでは双方向の討論がしにくいといった限界も把握でき、今後の学会運営に役立てていければと考えております。

コロナ禍が続く中で、感染予防として三蜜の回避やソーシャルディスタンスの重要性は言うまでもありませんが、デイケアは対人関係を再構築する場ですので、感染症対策を十分に取りながら、メンバーの社会参加に向けた活動を展開していきたいと思っております。



デイケア 西から東から、北から南から…

オンライン開催を終えて

野田 承美

デイケア学会への参加は今回で3回目となります。私は普段リワーク支援を行っているため、一般演題では復職支援を中心に視聴を行いました。リワーク支援は全国的な広がりを見せているものの、地方ではまだ実施施設が少ないのが現状です。そのため、他施設ではどのような取り組みを行っているかを知ることができる、貴重な機会となりました。

参加して毎回感じることは、皆さんが活動をより良いものにしようと、日々のプログラムに工夫を加え、意欲的にデイケア運営をされているという点です。発表を通してその一端を知ること、「私もこんな工夫ができるかも?」と業務を前向きに振り返るきっかけとなり、職場に戻っても頑張ろうという気持ちになります。今回のオンライン開催でも、皆さんの熱心な取り組みを見聞きでき、コロナ禍でしぼんでいた気持ちが「ちょっとやってみようかな」と元気ななれた気がします。

その中で特に印象に残ったことは、プログラムの目的は同じであっても、様々なアプローチ方法があるという点です。当たり前のことかもしれませんが、支援者がこれまで学んできた背景の違いによる、異なる視点からの取り組みに新鮮さを感じました。学会に参加したことで知識の更新と再確認に繋がったのはもちろんですが、自分自身の支援方法が一辺倒になっていないかを振り返る良い機会になりました。スタッフとしては、どうしても安心できる以前と同じやり方でプログラムを進めがちですが、コロナ禍を含めた現状に合う、参加者全員が楽しめるプログラムを考えてみたいと思いました。

最後になりましたが、コロナ禍でのオンライン開催にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。
(仙台市精神保健福祉総合センターデイケア係・公認心理師)



デイケア 西から東から、北から南から…

日本デイケア学会に参加して

東泊 由紀

『コロナ禍からデイケアを考える』のテーマのもと、今後も続く感染対策を取りながらのデイケア運営に、メンバーにとってデイケアがどのような場所であればよいのか考える機会となりました。やはり“居場所”がキーワードであり、温かい雰囲気があるコロナ禍で生活していく打開策となることを再確認できました。リアルな結びつきに代わるものはなく、人とのつながりが困難を乗り越えていく力になっていくのだと感じました。

また機能分化についての演題も多く、集団の場でありながらも個を大事にするといった、多様化した社会に対応した各現場の取り組みが印象に残っています。

オンラインということで参加しやすく、当院では多くのスタッフが互いに思ったことを口にしながら楽しく視聴させていただきました。

以下、当院スタッフが感じたことを抜粋します。

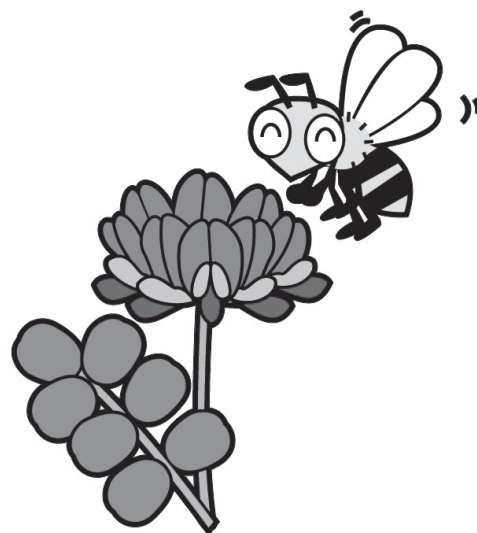
- ・支援者がそこに居る安心感・いつでもなんでも相談できる存在がいることが大切、デイケアは再入院防止とその人の居場所であること。(Ns 加納)
- ・コロナ対策によりデイケア利用制限の他、社会参加にも制限あり、メンバーが安心して利用できる環境作りが必要。(PSW 有馬)

・このコロナ禍だからこそ気づいたメンバーの役割や新たなプログラムもあり、決して失うものばかりではなかった。感染対策自体を楽しめるようメンバーと一緒に工夫することで、メンバーとともにデイケアを作るという一体感が生まれるのではないかと思った。(OT 岩吉)

・厳しいコロナ対策にスタッフのストレスは大きいですが、反面、このコロナを機に作業所利用回数を増やしデイケア卒業を迎えたメンバーが、予想以上に就労に定着する結果となり喜ばしいこともあったと振り返ることができた。(Ns 土山)

・“協働”という言葉に惹かれ、正式な国家資格ではないが役割に意義を感じている。多職種の一員としてメンバーがリカバリーのステップを踏めるようなかわりをしていきたい。(ピアサポーター 田中)

(谷山病院デイケア・作業療法士)



日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

入会申込書

申込日 令和 年 月 日

(正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	()
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	()	FAX	()
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ